

様式第 1 (13)

特別地区内動物の放出（家畜の放牧を含む）許可申請書

広島県自然環境保全条例第 16 条第 4 項の規定により 県自然環境
 保全地域の特別地区内における動物の放出（家畜の放牧を含む）の許可を受けたく、
 次のとおり申請します。

年 月 日

申請者の氏名及び住所
 （法人にあつては、名称、）
 （住所及び代表者の氏名）

———長 様 ※庄原市域内以外
 広島県知事 様 ※庄原市域内のみ

目	的	
場	所	
行為地及びその 付 近 の 状 況		
動物（家畜）の種類		
施行方法	動物（家畜）の 数 量 （ 頭 数 ）	
	管 理 方 法	
	関連行為の概要	
予定日	着 手	年 月 日
	完 了	年 月 日
備 考		

(備考)

1 添付図面

- (1) 行為の場所を明らかにした縮尺 1:25,000 程度の地形図
- (2) 行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺 1:5,000 程度の概況図及び天然色写真 (カラー写真)
- (3) その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

2 注意

- (1) 申請文の「 県自然環境保全地域」の箇所には当該県自然環境保全地域の名称を記入すること。なお、不要の文字は抹消すること。
- (2) 「場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番 (地先) 等を記入すること。
- (3) 「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (4) 「動物 (家畜) の種類」欄には、放出する動物 (家畜) の種類 (亜種である場合は、亜種レベルまで) を記入すること。
- (5) 「管理方法」欄には、放出する動物 (家畜) が当該地周辺の景観の維持に支障を及ぼさないための措置等を記入すること。なお、家畜にあっては、放牧面積、放牧施設、放牧時期を記入すること。
- (6) 「備考」欄には、次の事項を記入すること。
 - ア 他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況
 - イ 土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み
 - ウ 過去に広島県自然環境保全条例の許可を受けたものにあつては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件
 - エ 当該申請に関する連絡先 (電話番号又はメールアドレス) なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。
- (7) 申請書の用紙の大きさは、日本産業規格 (JIS) A 4 とすること。